

ASTER カラオケシステム 用語集

Ver1.2

2015/07/31 作成

2016/07/31 連絡先住所更新

はじめに

この文書は、ASTER カラオケシステム要求仕様書の理解を深めるために作成された用語集です。

この文書の目的

カラオケシステムの開発にはカラオケ業界特有の用語があり、初めてカラオケシステム開発を行うメンバーには理解が難しいことがあります。本書では要求仕様書を理解できるように同仕様書に記述されている基本的な用語を中心にまとめています。

想定読者

初めてカラオケシステムの開発に携わる開発者およびテスト担当者。

あ行

営業状態

カラオケシステムとして営業できる状態のこと。

具体的には **Power Off** の状態でフロント電源ボタン **ON** した後、起動画面（起動時スプラッシュムービー）の表示が終了したタイミングからフロント電源ボタン **OFF** 操作直後、終了画面（終了時スプラッシュムービー）が開始するまでの状態を指す。

オーバーレイ

画面要素を重ねて表示する機能。楽曲演奏中では BGP、BGV が最下層のレイヤーとなりその上にテロップ、採点などのコンテンツ要素、最上位に OSD が表示される。

各レイヤーはプレーンと呼ばれ、プレーンは最大 8 枚使用できる。

音程

一般的には音の高低のこと。採点機能の基本となる要素。本来の楽曲の音程どおりかを判定する。音程がずれた大きさとその長さにより減点される。

か行

開局

端末をセンターに登録し営業可能状態にする操作のこと。サプライヤーのサービスマンが実施する。未開局の端末はカラオケの機能が制限され楽曲演奏ができない。⇔引上げ

解禁

発売日前の楽曲データが配信された後、演奏制限が解除されることの総称。期間限定動画なども同様に扱う。

課金

カラオケ演奏に対して金額を徴収する機能またはその行為。課金パターンは楽曲単位や時間貸しがあり、設置店の営業形態によって設定される。また有償コンテンツも同様に課金することができる。課金設定には専用インターフェースに課金専用装置が接続されていなければならない。

課金専用装置

専用のインターフェースに接続される特殊な機器のこと。千円紙幣と百円硬貨に対応しているビルコインボックスと百円硬貨のみに対応しているコインボックスがある。ビルは紙幣、コインは硬貨をそれぞれ意味しており、課金管理をする専用のハードウェア。

楽曲管理ファイル

楽曲の音声データ、背景映像データ、テロップデータ、ジャケットデータを楽曲の予約番号単位で紐づけ一元管理するファイル。その他の楽曲データとともに配信され、端末内の特定のデータストレージ領域に保持される。

カラオケボックス

カラオケシステムを設置する店舗の営業形態の一つ。一般的には時間単位で部屋を貸し、楽曲単位での課金を行わない。一店舗で複数台のカラオケシステムを設置する。ボックス店設定はこのタイプの店舗に適用する。

キー

音程の高低のこと。多くの楽曲は原曲と同じキーで演奏するが、原曲のアーティストがハイトーンボイスだった場合、標準の値を下げて初期値とする場合がある。カラオケシステムでは歌唱する人が歌いやすいように、カラオケ演奏の音程を変更することができる。

キーコン

キーを変更する機能およびその操作のこと。キーコントロールの略。
キーコンは - 7 から + 7 までの 0 を含む 15 段階で変更できる。
キーを上げる場合は本体上の # ボタンを、キーを下げる場合は ♭ ボタンを押下する。

キュー

一般的にはデータを保持する構造。カラオケシステムでは予約曲管理に使われ、予約キューと呼ばれる。

曲間

営業状態でありかつ曲演奏中でない状態。曲間の動作はオーナー機能で設定可能。

曲中

カラオケ楽曲演奏中の状態。厳密に言えば演奏準備が完了した状態から演奏終了処理が完了するまでのこと。
ジャケ写表示中、採点結果表示中は曲中として扱われる。

クロスフェード

画面切り替え（一般的にいうワイプ）の方法の一つ。フェードアウト（FO）とフェードイン（FI）を連続して行うこと。

グラカラ

グラビアカラオケの略。特定曲演奏時にグラビアアイドル出演の動画を BGV として再生するコンテンツ。

こぶし

歌唱技法の一つ。採点時の加点要素。音程を細かく上げ下げする技術で演歌や民謡でよく使われる。こぶしを回すなどと表現される。

コントロール端子

本体背面にある端子の一つ。
リモコン系以外の従来の外部機器を接続するための端子。

さ行

採点

歌唱技術を数値化し、評価する機能の総称。各種採点ゲームとしてカラオケシステムに搭載される。

採点キー

本体上にある物理ボタンの一つ。

このキーを押下すると標準設定されている採点ゲームが起動する。再度このキーを押下すると採点ゲームが終了する。

曲間、または曲中でこのキーを押下した場合は、次曲開始時に採点ゲームが呼び出される。採点ゲーム中の曲間、または曲中にこのキーを押下した場合は、即座に採点ゲームが終了する。

サウンドエフェクト (SE)

効果音のこと。ADPCM で発音される。効果音には「拍手」「歓声」「口笛」がある。

サビ

楽曲の最も盛り上がる部分。演奏マークにより指定することでサビ部分に対しての制御が可能。

シーク

指定位置への移動のこと。カラオケシステムの楽曲演奏中では「早送り」は 10 秒後、「早戻し」では 10 秒前に移動する。

しゃくり

歌唱技法の一つ。採点時の加点要素。正しい音程に対し少し低い音程で歌唱ししゃくりあげるように正しい音程に合わせていく技法。低めにしすぎると音程が外れていると判定される。

スーパーインポーズ

動画または静止画上に文字を表示する技術。楽曲タイトル、楽曲情報、歌詞テロップに使用されている。

声量

採点要素の一つ。伴奏に対しての歌唱音量の比率で評価される。
声量の値が大きいと評価が高くなる。

セキュアな通信

回線的にもデータの的にも保護されている状態。本機では専用の仮想化通信装置と独自暗号化アルゴリズムで実現している。

センター

カラオケシステムが通信する対抗側の総称。専用データセンター内に配置されている。サプライヤーが管理し、端末管理サーバ、配信サーバ、コンテンツサーバを持つ。

セント

音程の単位。1 オクターブが 1200 セントであるため、100 セントが半音にあたる。

た行

タメ

歌唱技法の一つ。採点時の加点要素。正しい発音タイミングに対し少しだけ遅らせて発声すること。遅らせすぎるとリズムの減点対象となる。

単曲モード

ナイト店で主に使用される演奏モード。楽曲の演奏準備ができて「スタート/やり直し」ボタンの操作がなければ演奏が始まることはない。演奏準備が終了しボタン操作を待っている状態では、「スタート/やり直し」ボタンが点滅し、演奏開始可能であることを告知する。⇔連曲モード

2 コーラスフェードアウト (2CF0)

2 コーラス目終了時に自動的にフェードアウトし演奏終了となる機能。音声、映像ともにフェードアウトする。

通常曲

MIDI を音源とする楽曲の名称。⇔生音曲

テロップ

カラオケ演奏時の歌詞表示のこと。曲の進行に合わせて歌詞の色が変化し、その時点での歌唱位置を示す。このテロップの色変化をカラオケシステムではワイプと呼ぶ。

テンポ

楽曲演奏の速度のこと。基本的には原曲と同じ速度で演奏するが、歌唱する人が歌いやすいように変更できる。

テンポコン

テンポを変更する機能およびその操作のこと。テンポコントロールの略。テンポコンは - 7 から + 7 までの 0 を含む 15 段階で変更できる。

な行

ナイト店

カラオケシステムを設置する店舗の営業形態の一つ。一般的には曲単位で課金する場合が多い。一店舗で一台のカラオケシステムを設置する。⇔ボックス店

7セグ (ななせぐ)

7本の直線の組み合わせで数字を表す表示方式のこと。
テンポコン、キーコンの値を本体上に表示する際に使用されている。

生音曲

MP3を音源とする楽曲の名称。⇔通常曲

ナローバンド

NBと表記される。アナログ回線、ISDN回線など64kbps以下の通信環境の総称。常時接続ではなくダイヤルアップ接続を前提とする。サービス終了とともにISDNはサポート外となった。⇔ブロードバンド

は行

ハウリングキャンセル

スピーカーと近い位置でマイクを有効にした時に発生する回り込みに起因するノイズを解消する技術のこと。狭い室内で大音量で使用されることが多いカラオケシステムには必須の技術。
本機では専用のハードウェアで実現している。
常時動作しており、機能のON/OFFや効果の変更はできない。

パン機能

パンポットともいう。MIDIのコントロールチェンジの一つ。
ステレオの場合の音の出力先を左右に割り振る際に使用する。
楽器の鳴っている場所(音場)の定位を再現し、臨場感を増す為の機能。

引上げ

端末情報をセンターから削除し、営業可能状態から未開局状態にする操作のこと。サプライヤーのサービスマンが実施する。未開局の端末はカラオケの機能が制限され楽曲演奏ができない。⇔開局

ビブラート

歌唱技法の一つ。採点時の大きな加点要素。発声する音声の音程を上下させ震わせること。上下させるタイミングや振幅によりいくつかのタイプに分類される。

ファームウェア

本機で使用するソフトウェアの総称。システムプログラム、ハードウェアデバイスドライバ、アプリケーションなどがこれにあたる。

フェードアウト

映像や音声徐徐に消えていく演出技法。楽曲データ自体がフェードアウトで終わるものもあるが、演奏中止などの処理にも必要な機能。

フェードイン

映像や音声徐徐に現れてくる演出技法。シーク後の動作などに必要な機能。

フォール

歌唱技法の一つ。採点時の加点要素。正しい音程から音の出し終わりに向けて音程を下げていく技法。音程の下げ始めが早すぎたり、下げる量が大きすぎたりすると音程が外れていると判定される。

プリセットデータ

工場出荷状態のストレージに標準搭載されている楽曲などのデータのこと。

ブロードバンド

BB と表記される。光回線、ADSL などの広帯域、常時接続の通信環境の総称。通信量に制限があるコンテンツはこの環境でなければならない。⇔ナローバンド

プロモチャンネル

プロモーションチャンネルのこと。カラオケのサービスやコンテンツ、楽曲やアーティストの情報などを紹介する動画コンテンツ。ボックス店では曲間動画に設定されていることが多い。

ボックス店

カラオケシステムを設置する店舗の営業形態の一つ。一般的には時間単位で部屋貸しする場合が多い。一店舗で複数台のカラオケシステムを設置する。⇔ナイト店

本体液晶画面

フロントパネル中央部に組み込まれた液晶ディスプレイ。メインモニターと同じ表示の他に操作画面や設定画面を表示することができる。また演奏中には独立して各種画面表示をすることもできる。

ま行

モデム

アナログモデムのこと。アナログの電話回線を使用してデータ通信するための機器。最大通信速度 56kbps の V.92 規格に準拠している専用モデムのみ接続を保証する。

メイン画面

本体以外のディスプレイで、実際に歌手が見て歌う画面のこと。

メニューボタン

本体上の物理ボタンの一つ。

このボタンを押下することで本体上の液晶モニターにユーザー向けメニューが表示される。

メモリー/セットキー

本体上の物理ボタンの一つ。

テンキーで予約番号を入力後、このキーを押下することで予約としてセットされ、予約が確定する。

や行

抑揚

歌唱技法の一つ。採点時の加点要素。歌唱声量に強弱を与えメリハリをつけること。

予約

カラオケシステムに演奏曲を指定する行為の総称。予約には 4 ケタのトレイ番号+2 ケタのチャプター番号の入力が必要。また予約は本体操作だけでなく、赤外線や無線 LAN などを経由してリモコン系外部機器からの予約が可能。

ら行

リズム

一般的には音律と呼ばれる。採点機能の基本となる要素。本来の楽曲のリズムに乗って歌唱できているかを判定する。歌唱している部分だけでなく、歌唱していない部分が正しいことも判定され、本来の発声部分との差異により減点される。

リップシンク

画面上の動画の動きと音声の発音タイミングが揃っていること。唇の動きと声が合っていないと不自然に感じる。

リモコン

外部予約機器の総称。赤外線を使用する小型の機器の外観からそう呼ばれる。

連曲モード

カラオケボックスのように時間貸しの店舗で多く設定されている演奏モード。予約曲の演奏準備が整い次第、演奏が開始される。⇔単曲モード

わ行

ワイプ

一般的には二つの映像の切り替え方法の総称のこと。本機の場合ではテロップの歌唱位置を示す色変化の演出のことを指す。

アルファベット

AC Off

背面の電源スイッチがオフになっている状態。
この状態では通信もできなくなっているため、データ配信を受けるためには AC On 状態になっている必要がある。

AC On

背面の電源スイッチがオンになっている状態。
AC On 状態でありかつ営業状態でない状態を **Power Off** 状態と呼ぶ。

ADPCM

Adaptive Differential Pulse Code Modulation の略。
適応的差分パルス符号変調と訳される。音声デジタルデータに変換する方式の一つ。通常の PCM と比べて音質を損なうことなくサイズを小さくできる。

本機では MIDI 曲の演奏時のコーラスなど楽器で表現できない音と SE 機能で使用している。

BB

ブロードバンドを参照

BGM

バックグラウンドミュージックの略。曲間設定が静止画の時などに、背景で流れる音声のことを指す。各コンテンツの開始画面などにも設定されている。

BGP

バックグラウンドピクチャの略。動画以外の背景画像のこと。それぞれの用途にしたがいストレージ上に配置されている。BGM と同様にコンテンツの背景画像も BGP と呼ばれる。

BGV

バックグラウンドビデオの略。背景動画のこと。環境映像などがこれにあたる。

DAM キー

本体上の物理ボタンの一つ。

各種ユーザー設定画面の呼び出し時に使用する。

設定画面の番号をテンキーから入力した後、確定の意味で押下される特殊キー。

MIDI

Musical Instruments Digital Interface の略。

電子楽器の演奏データを機器間でデジタル転送するための世界共通規格のこと。ここではこの規格に則った MIDI データで作成された楽曲データのことをいう。

サイズが小さく、キーやテンポを独立して変化させられる特徴を持ちカラオケシステムに向けたファイル形式といえる。

NB

ナローバンドを参照

OSD

オンスクリーンディスプレイの略。各種画面表示のうち、主に本機の状態を表示する機能を指す。キーコン、テンポコン、SE の操作状況などを画面上部左右隅の特定エリアに表示する。

PV

プロモーションビデオのこと。本人映像曲の背景映像として使われることが多い。プロモチャンネルとは別のもの。

Power Off (Power Off 状態)

営業状態で本体前面の電源ボタンを押下する操作。この操作により

Power Off 状態に遷移する。この他にも AC On 状態で本体前面の電源ボタン未操作でも Power Off 状態となる。

Power On (Power On 状態)

AC On 状態で本体前面の電源ボタンを押下する操作。この操作により Power On 状態に遷移する。

SMF

スタンダード MIDI ファイルの略。標準的な MIDI ファイルのフォーマット形式。本機で演奏可能な MIDI 曲のフォーマット。

VPN

ヴァーチャルプライベートネットワークの略。仮想的に専用線接続を可能とする技術の総称。一般的には強固な暗号によるデータのカプセル化によって実現されている。本システムにおいては専用の機器を使用することにより実現されている。

テスト設計コンテスト' 17 OPEN クラス テストベース

ASTER 通信カラオケシステム用語集 Ver1.2

2015 年 7 月 31 日発行

2016 年 7 月 31 日改訂

編集・発行 テスト設計コンテスト実行委員会

特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会（ASTER）

連絡先 特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会（ASTER）事務局

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-10 ユニゾ芝二丁目ビル 7F

電話 03-5444-7601 FAX 03-5444-8095

E-MAIL aster-tdc-query@qualab.jp

URL <http://aster.or.jp/>

©特定非営利活動法人 ソフトウェアテスト技術振興協会

無断転載・複製を禁ず